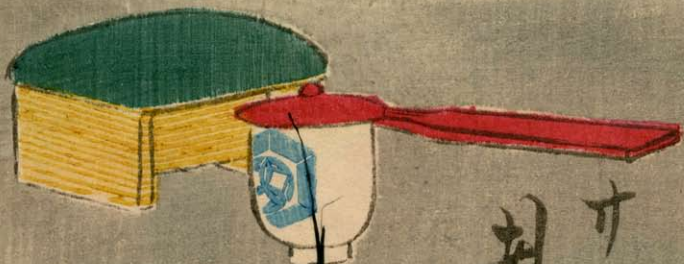




佐和里 都々 浄瑠璃

白

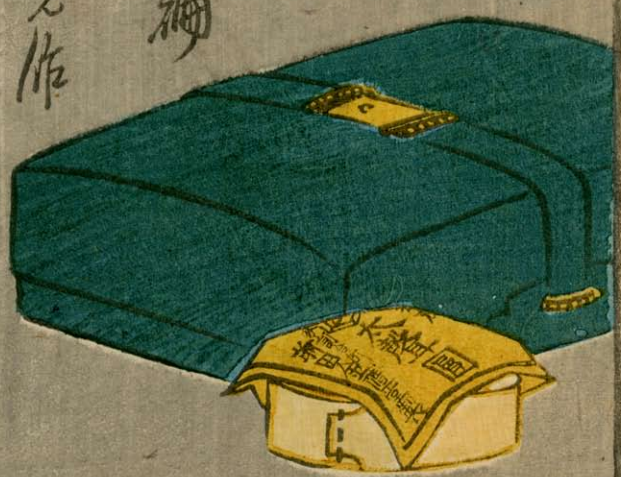


カハリ
都三

陶人會

式編

長谷川白虎作
長谷川白虎作



おろろのふとふ

初日^{あはれ}の法^{のり}能^{なり}満^みは

糸^{いと}満^み百^{ひゃく}の月^{つき}と^と枝^{えだ}

綱^{つな}太^{ふと}の神^{かみ}つ^つか^か舞^まの神^{かみ}

しりてむすびの神とふに





貞屋

ヤリ...

ト...

あまやう...

ま...

一の若

よ...

松のつひ...

はし...

く...

あ...

...

...

ロ...

...

...



ト

ちんちんちんちん

~~~~~

ひん

あねがらもむら  
指さぬ山で海まで  
中かたの徳平楽  
女字あかしのし

ぬーあかしのし

ちんちんちんちん



源吉

ちんちん

ト

あまのあまの

うらうらわが

新に村

あまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまの

あまのあまの

あまのあまの



あまのあまの

あまのあまの



トム  
知ぬふゆそても

あひのふうひ

二代流

ふのふふ理といふ

終といふおもしろい

げあむすりうらあ

情に金杯杯まであ

走んてうらあ

まけんせん

あ

百屋  
内様  
盤  
あふ



秋津流

おとこ

あつちのうらな

新七

あのおおのうらな

あつちのうらな

あつちのうらな

あつちのうらな

あつちのうらな



あつちのうらな

大市

あつちのうらな

あはれわさるゝ

そなたけがらふ

ほろ

今更夜越と引

おろされらる程

胸せまり難とぞ

かたきあはひ

らんぬふぐひが

たりのかひ

あめ

おつる



下二

ついでにのふきか

ついでにのふきか

千両のやり

ついでにのふきか

ついでにのふきか

ついでにのふきか

ついでにのふきか

月に

ついでにのふきか



酒の百味  
岩川失に  
化後知  
岩川巻

膳更  
岩川失に

猪名川

空房をわ

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

八陣

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい



おもしろい

ド

しもんんかても

まゝにうぬ

イモセ

あつちのまの形さ

のまのうたわん

けしんのおの奥

おこし

さし

甲しやま

定家

北条



あつてうまうま

あつてうまうま

嘆息

冬の風が吹くほど

はげしく吹くほど

あつてうまうま

あつてうまうま

あつてうまうま

あつてうまうま

あつてうまうま



あつて

あつて

ト三

さうぢやとさうぢや

人目もさげず

井原

そ藤と初う

合らんとあゑ

ぐもあんなまが

いかいは別ま

あゝいゝのか

みいどやう



平太夫

あゝいゝ



「さ」

おまゝのうらみ

せいのうらみ

か

茶の葉もも

の香がま

懐せぬ泪の塩

あじい

さ

わ

中ら女

茶

ナワリ二篇

六



トニ

わいのぬきあひ

おちんちん

幸四

糸はるねあむら

どい角堂をかたむ

きまてまふありぬ

まう

ひんてんてん

Yaguchi



長石

おちんちん

あふあふあふあふ

あふあふあふあふ

お七

あふあふあふあふ

あふあふあふあふ

あふあふあふあふ

あふあふあふあふ

あふあふあふあふ

あふあふあふあふ

十の二編



お七

お七



ト  
急にならざるを

めいやくのまこと

因習

心いふもろのま  
ての胎懐んをへる  
まる夜田の務め  
とるまへま

い  
い

あがおもひ



丹

月

ト

卯うふやくま

中

お

のろのろの鬼おにの影かげ  
よるの影かげひびくともお  
くみおわらわひぢまも  
は根ねちまのどまを

も

あ



ち

ト一

うわさごころ

うわさごころすて

洗炮や

うわさごころ

うわさごころ

うわさごころ

うわさごころ

うわさごころ

うわさごころ



清女

おきん

ナワリ二篇

九

うみぞおち入ふ

こころばてもあうと

きぬなほ庭

あつふのさむま

あふとあはれ

あつふのさむま

あ

あつふのさむま

あつふのさむま



あつふのさむま

あつふのさむま



こころいそいそ

おのれいそいそ

山鏡

さくら花の御母  
やと遊物も九葉の  
ゆづり末のほろけり  
のろろ花めく

おのれいそいそ

のろろ花めく



ト  
まのめ...ののど

よたの...みふ

新吉

及やうお...  
物...  
は...  
あ...

むしふ...  
あ...

あ...



ト、

三味せんまろ

うき糸

も

北四孝三口

うきをさうら

うきも徳栄

花も夏のゆめ

らふへうの

たりの

かひり

十



ド一 岩戸ひらふさ

いせぬニ  
うしうしうしうし

だちぬらひ目もゆ

ふの上かのれの常の

家の女のれのかのとのまの

あのたのがのひのふのあのさの

めのがのさのらの

宋は母方がふのといふ



宋は母方

宋は母方

ド

せうましくん

月日まむさ

野原

おとあつるま

奥の原の風は

あまくさるる

つれなき風を

あつるつる

おひさし

おひさし

おひさし

ナワリ二編

十三



あつてさるめさぶ

こゝろはさかひん

松原ののりん

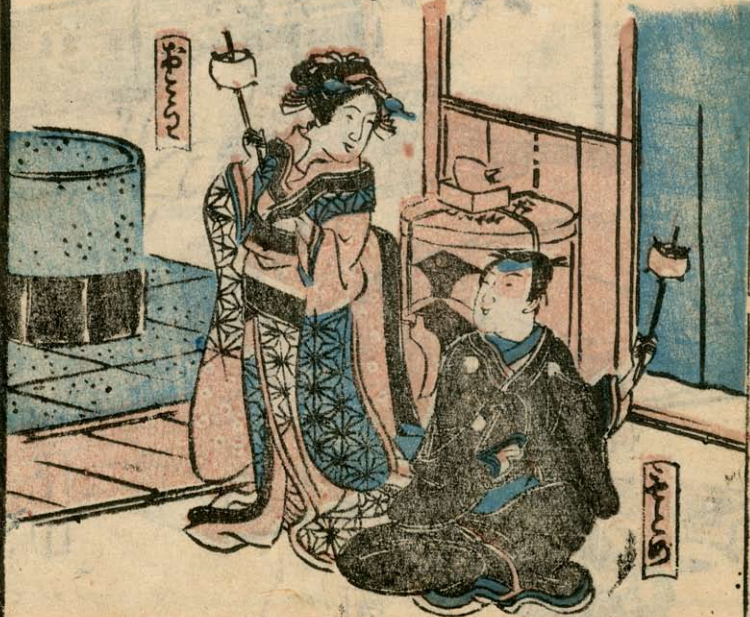
それぞつじもあ

おのゝろくでせえ

とみさ

あつてさるめさぶ

こゝろはさかひん



花ハ千本まで

ちつつけの

由

花のよのた

花のよのた

花のよのた

花のよのた

ふん

花

山

のほよ

んた

九



ト

ひのちきり

わとれぬらほ

妹春山

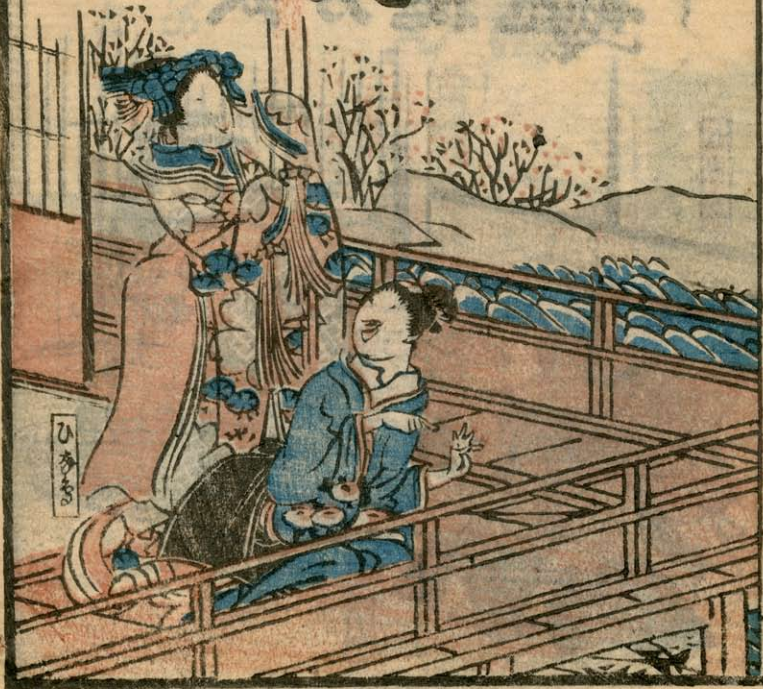
かゝ念の煙もぬ

かの煙もぬ

たろふ

つれなき

うらみ



ひ



和漢書物類  
繪本類

繪上ノ漢書類聚百枚  
小字繪本ノ下ノ繪本類  
世ノ流行甚クテ採集ノ多ク

常用物

百ノ常用字ノ別類ノ書物類  
常用物ノ類ノ書物類  
百ノ常用字ノ別類ノ書物類

錦繪類

繪上ノ錦繪ノ類  
大小ノ錦繪ノ類  
錦繪ノ類ノ書物類

雨板

漆  
漆ノ本

一ノ漆ノ本  
四ノ漆ノ本  
中ノ漆ノ本

一ノ漆ノ本ノ類  
四ノ漆ノ本ノ類  
中ノ漆ノ本ノ類

繪  
繪ノ紙

問屋  
錦屋  
喜兵衛

大坂心齋橋通盛岡角



